

巨額の自治体負担を伴う 府市一体の巨大開発計画ストップ!!

1 北陸新幹線延伸計画 総事業費 2.1兆円超の巨大プロジェクト



北陸新幹線延伸計画(敦賀～京都・大阪)は総事業費が2.1兆円を超えるとされる巨大プロジェクト。すでに建設中の金沢・敦賀間の工事(総事業費1.7兆円)では、福井県の負担金は1,700億円。延伸工事が始まれば京都府・市にも莫大な負担が求められることになります。

2 「北山エリア」大規模開発計画 都市計画のルールも無視

「北山エリア」(植物園・府大・北山駅周辺)で数百億円規模の開発計画をつくったのは京都府。計画には宿泊施設や劇場などが書き込まれていますが、京都市はこの地域にそれらの施設を建てることを禁止しています。本来であれば「この計画は認められません」と府に言うべきですが、全く逆に、府の計画に合わせて市の規制を緩和する方針を示しています。

多くの方から批判の声が出されている巨大開発を、都市計画のルールも無視して府市一体で進める、しかもそこに巨額の税金を投入しようという計画。認める訳にはいきません。



植物園を守ろうと署名行動
すでに10万人以上の署名が集まっている

市長の言う「財政が破たんする」は 全くのデタラメ

私は決算委員会で、「財政が破たんする」という話と、「北陸新幹線などの巨大プロジェクトを推進する」という話には、「全く整合性がない」と市長に対して追及。市長は質問には全く答えられないまま、巨大プロジェクトについて「取り組みを進める」と答弁。

結局、「財政が破たんする」は全くのデタラメで、市民負担増と制度改悪で財源をつくり、巨大プロジェクトを推進するという計画であることがいよいよ明らかになりました。



決算委員会で市長と論戦

くらし優先の政治への転換を
巨大プロジェクト推進よりも